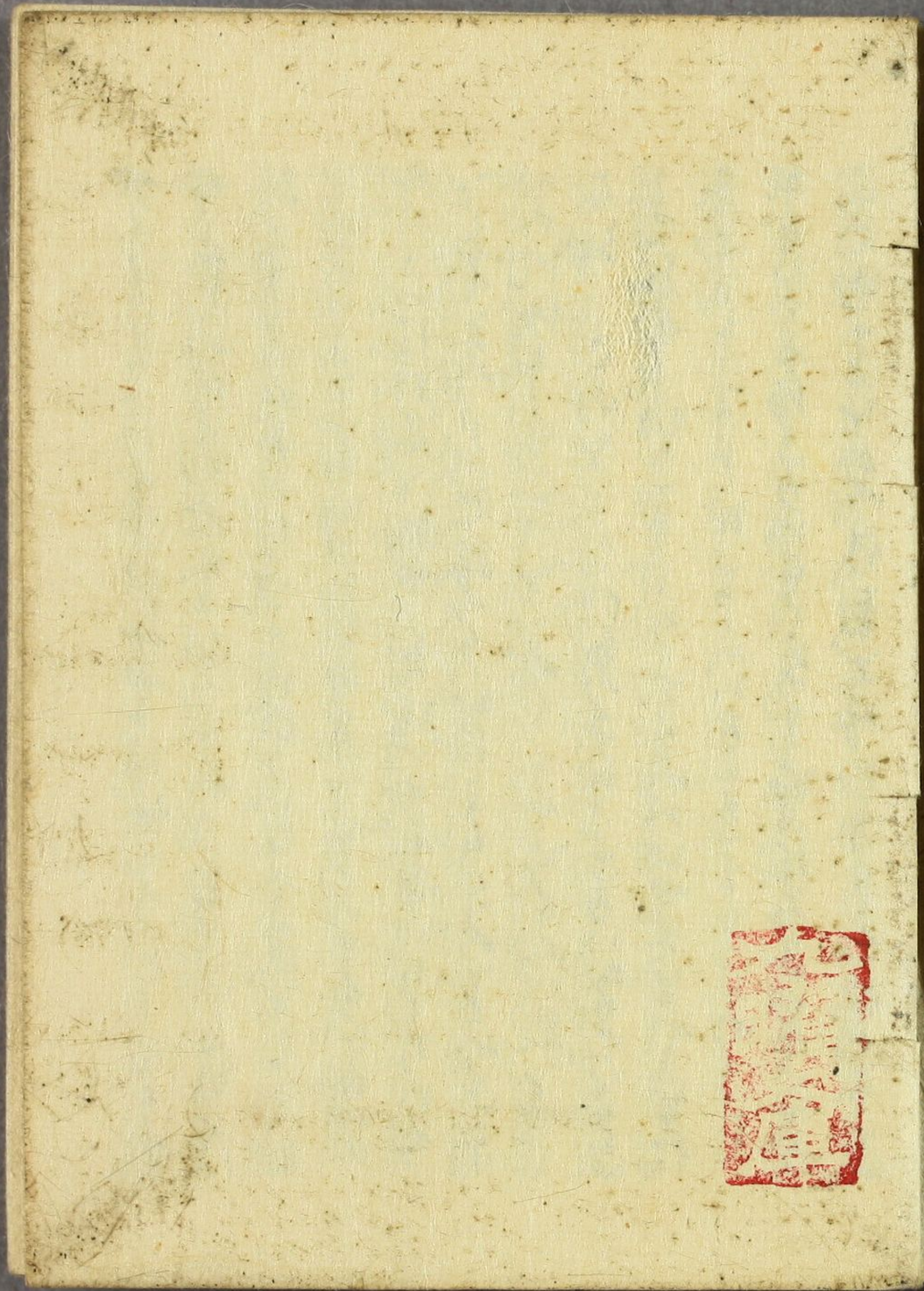


千載和歌集





Red rectangular stamp with illegible characters or a design.



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. It appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or inventory. The script is dense and difficult to decipher without specialized knowledge of the language or dialect used.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a date, located at the bottom of the page. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper.

[Faded handwritten text in a cursive script, likely a form or ledger entry. The text is mostly illegible due to fading.]

[Faded handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is mostly illegible due to fading.]

長江東流時を舟よりかきよはせける 大物隆隆

しんじのしんじわに春をらしむしあはれにききよの
けしきもくもくしんじわにけしきもくもくしんじわに
あはれにききよのしんじわに

あはれにききよのしんじわにけしきもくもくしんじわに

長江東流時

あはれにききよのしんじわにけしきもくもくしんじわに
あはれにききよのしんじわにけしきもくもくしんじわに
あはれにききよのしんじわにけしきもくもくしんじわに
あはれにききよのしんじわにけしきもくもくしんじわに

あはれにききよ

あはれにききよのしんじわにけしきもくもくしんじわに

長江東流時

あはれにききよのしんじわにけしきもくもくしんじわに

あはれにききよ

あはれにききよのしんじわにけしきもくもくしんじわに

あはれにききよ

あはれにききよのしんじわにけしきもくもくしんじわに

あはれにききよ

あはれにききよのしんじわにけしきもくもくしんじわに

あはれにききよ

ふらふらの梅のま枝のりつちのうらふらの梅とよとよま
スー

原信行宛下

梅の木の雪の降るに雪の降るのさか
梅の木の雪の降るに雪の降るのさか

永保二年二月廿日付のさか
永保二年二月廿日付のさか

梅の木の雪の降るに雪の降るのさか
梅の木の雪の降るに雪の降るのさか

大物原宛
大物原宛

大物原宛

梅の木の雪の降るに雪の降るのさか
梅の木の雪の降るに雪の降るのさか

大物原宛

梅の木の雪の降るに雪の降るのさか
梅の木の雪の降るに雪の降るのさか

大物原宛

梅の木の雪の降るに雪の降るのさか
梅の木の雪の降るに雪の降るのさか

大物原宛
大物原宛

梅の木の雪の降るに雪の降るのさか
梅の木の雪の降るに雪の降るのさか

大物原宛
大物原宛

梅の木の雪の降るに雪の降るのさか
梅の木の雪の降るに雪の降るのさか

大物原宛

梅の木の雪の降るに雪の降るのさか
梅の木の雪の降るに雪の降るのさか

大物原宛

梅の木の雪の降るに雪の降るのさか
梅の木の雪の降るに雪の降るのさか

大物原宛
大物原宛

梅の木の雪の降るに雪の降るのさか
梅の木の雪の降るに雪の降るのさか

大物原宛
大物原宛

梅のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし
新あはれ

梅のよきうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし
仁徳のこころは教の

むねうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし
梅のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし

凡そこの形その梅よしのそのうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし
中夜よりうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし

又の年は二月とうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし
春のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし

むねうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし
梅のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし

四方よ木のわらわらあはれぬものぞかし
春のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし

春のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし
梅のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし

ついでとらり梅のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし
梅のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし

大山木のうけの下はあはれぬものぞかし
梅のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし

又二方よ木のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし
梅のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし

春のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし
梅のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし

春のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし
梅のうらみよふくむくひにいかにあはれぬものぞかし

為丁のくるといふはなる

左道中ね良神

海にわたるくるといふはなる

ね三任打ぬ

天にえとくしんいなる

ね尸若孫成伴

のくるといふはなる

宗正院よりそをたぐる

ね其年若孫一

春にわたるのくるといふはなる

百そのちりくるといふはなる

初くるといふはなる

ね其年若孫一

のくるといふはなる

白の院をわたる

のくるといふはなる

のくるといふはなる

のくるといふはなる

のくるといふはなる

のくるといふはなる

のくるといふはなる

のくるといふはなる

のくるといふはなる

のくるといふはなる

Wobbeingerbeeren
Wobbeingerbeeren

けはち入なまがはち

うらなとくしき女は江のなまうりのしらふも露のさうりさうり

寛康の年がはらもはらもはらもはらもはらもはらもはらもはらもはらも

橋のちうりて 申あつきの女

ふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

申あつきの女

もあつきのふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

申あつきの女 申あつきの女

又のちあつきのふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

かへつきのふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

申あつきの女

ちあつきのふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

申あつきの女

あつきのふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

申あつきの女

あつきのふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

申あつきの女

あつきのふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

申あつきの女

あつきのふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

申あつきの女

あつきのふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

申あつきの女

あつきのふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

申あつきの女

後平は信部ト

神よりのもちのしり奉るそをのちもあうけせむくはる

知思ら花とりしらす 仁初言収は後平は

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

いよつとちのひりさりゆいしちちあひのちん 後平は信部ト

とくしてものよりよきものなりとのことなりとて

友東乃葉 はな 舞念

一のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

保中ら

春として白のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

新奥門を控へ

白やとて白のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

上野門を控へ

花のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

太宰大宰司家

とくしてものよりよきものなりとのことなりとて

友東乃葉

花のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

十代のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

花のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

花のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

花のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

花のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

花のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

花のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

花のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

花のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

花のちのち乃ちなりたるよりよきものなりとのことなりとて

春より夏にかけての雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

右の雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

はたまたまの雨の多しき頃

原仲智

しんくつとてそそをひらきあつちかへりたりたり

むのつらとを流作る 原仲智

うそそそをせりうろろしゆむちのまろそらしつら

池の橋のたをそそみ作る 徳田は原

あちあちのあつちをそそむも乃ちうそくくく

花浮洞水とせりんと流作る むきをたは

しんくつとてそそをひらきあつちかへりたりたり

しんくつとてそそをひらきあつちかへりたりたり

むのつらとを流作る 原仲智

うそそそをせりうろろしゆむちのまろそらしつら

池の橋のたをそそみ作る 徳田は原

あちあちのあつちをそそむも乃ちうそくくく

花浮洞水とせりんと流作る むきをたは

しんくつとてそそをひらきあつちかへりたりたり

しんくつとてそそをひらきあつちかへりたりたり

むのつらとを流作る 原仲智

うそそそをせりうろろしゆむちのまろそらしつら

池の橋のたをそそみ作る 徳田は原

あちあちのあつちをそそむも乃ちうそくくく

花浮洞水とせりんと流作る むきをたは

しんくつとてそそをひらきあつちかへりたりたり

しんくつとてそそをひらきあつちかへりたりたり

むのつらとを流作る 原仲智

うそそそをせりうろろしゆむちのまろそらしつら

池の橋のたをそそみ作る 徳田は原

あちあちのあつちをそそむも乃ちうそくくく

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines across the page. The script is dense and characteristic of early modern European cursive. The document appears to be a formal record or a set of instructions, given the structured nature of the lines and the use of some larger, possibly decorative or significant, characters. The paper shows signs of age, including slight discoloration and wear at the edges.

わが心はひらきぬきしむらじしりあふも春よといわむあふらふ
二月ののさかきかたは後成の汗は流ししころ

は東野夏

まじりておのれしむらじしむらじとさふあふらふのころに
同じ月夜に流はる

横大信朝のたふ

花の春よといふころにさかきかたは後成の汗は流ししころ
は流しし月夜としりあふらふ

お大信朝のたふ

あふらふといふころにさかきかたは後成の汗は流ししころ
堀門は柳のさかきかたは後成の汗は流ししころ

お大信朝のたふ

さかきかたは後成の汗は流ししころ
さかきかたは後成の汗は流ししころ

お大信朝のたふ

さかきかたは後成の汗は流ししころ
千載初が集巻第二

一及ち

堀門は柳のさかきかたは後成の汗は流ししころ

お大信朝のたふ

さかきかたは後成の汗は流ししころ
さかきかたは後成の汗は流ししころ

お大信朝のたふ

さかきかたは後成の汗は流ししころ
さかきかたは後成の汗は流ししころ

お大信朝のたふ

さかきかたは後成の汗は流ししころ
さかきかたは後成の汗は流ししころ

お大信朝のたふ

さかきかたは後成の汗は流ししころ
さかきかたは後成の汗は流ししころ

お大信朝のたふ

昔見ゆるといふは後作也 右道大徳実三房

夕日ぬるむらさきけしやふのたふらふしつらけりたれ

ゆゑのちかき後作のなる 仁徳もなむは教也

むらさきけしつらけりたふらふむらさきけりたれ

白くぬるむらさきけりたふらふむらさきけりたれ

ゆゑのちかき 後東平道徳也

むらさきけしつらけりたふらふむらさきけりたれ

むらさきけしつらけりたふらふむらさきけりたれ

ゆゑのちかき 後東平道徳也

むらさきけしつらけりたふらふむらさきけりたれ

ゆゑのちかき 後東平道徳也

むらさきけしつらけりたふらふむらさきけりたれ

後東平道

むらさきけしつらけりたふらふむらさきけりたれ

ゆゑのちかき 後東平道徳也

むらさきけしつらけりたふらふむらさきけりたれ

ゆゑのちかき 後東平道徳也

むらさきけしつらけりたふらふむらさきけりたれ

ゆゑのちかき 後東平道徳也

むらさきけしつらけりたふらふむらさきけりたれ

ゆゑのちかき 後東平道徳也

後東平道

むらさきけしつらけりたふらふむらさきけりたれ

ゆゑのちかき 後東平道徳也

むらさきけしつらけりたふらふむらさきけりたれ

ゆゑのちかき 後東平道徳也

「時」の「方」と「方」の「時」

子規の「時」の「方」の「時」

「時」の「方」と「方」の「時」

「時」の「方」と「方」の「時」

時方

「時」の「方」と「方」の「時」

形方

「時」の「方」と「方」の「時」

時方

「時」の「方」と「方」の「時」

時方

「時」の「方」と「方」の「時」

時方

「時」の「方」と「方」の「時」

時方

「時」の「方」と「方」の「時」

時方

「時」の「方」と「方」の「時」

時方

「時」の「方」と「方」の「時」

時方

「時」の「方」と「方」の「時」

時方

「時」の「方」と「方」の「時」

時方

時をあらわしつゝははむとせむらひのひのいふ
邦のちとて流るる

林をぬきて

あつちのちとて流るる

林をぬきて

又月夜にのりたるはなはな

あつちのちとて

母をあらわしつゝははむとせむらひのひのいふ

梅の花は春の時にちとて流るる

あつちのちとて流るる

梅の花は春の時にちとて流るる

梅の花は春の

あつちのちとて流るる

あつちのちとて

梅の花は春の

あつちのちとて流るる

あつちのちとて流るる

あつちのちとて

あつちのちとて流るる

あつちのちとて

あつちのちとて

あつちのちとて流るる

あつちのちとて

あつちのちとて流るる

あつちのちとて流るる

あつちのちとて

あつちのちとて流るる

Handwritten text in a cursive script, likely a list or index.

Handwritten header or title for the first section.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or index.

Handwritten header or title for the second section.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or index.

Handwritten header or title for the third section.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or index.

Handwritten header or title for the fourth section.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or index.

Handwritten header or title for the fifth section.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or index.

Handwritten header or title for the sixth section.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or index.

Handwritten header or title for the seventh section.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or index.

Handwritten header or title for the eighth section.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or index.

Handwritten header or title for the ninth section.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or index.

Handwritten header or title for the tenth section.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or index.

しんがくしんがく

佛後すうりくしんがくしんがく

後人しんがく

しんがくしんがくしんがくしんがく

かきかたしんがく

しんがくしんがくしんがくしんがく

きんがくしんがく

しんがくしんがくしんがくしんがく

しんがくしんがく

しんがくしんがくしんがくしんがく

しんがくしんがく

刑部卿林方などしんがくしんがく

しんがくしんがく

しんがくしんがくしんがくしんがく

しんがくしんがく

しんがくしんがくしんがくしんがく

しんがくしんがく

しんがくしんがくしんがくしんがく

しんがくしんがく

しんがくしんがくしんがくしんがく

千載和歌集卷第四

秋分上

秋分のころは

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

秋分はとちりうらやまの秋分はとちりうらやま

極楽院の御時を御付がなる多時法信多 二条大寺大徳
柳様のちりねとてふことらなるうやねもきりて

おせ院の御

いひて今世ももかかたの世はうらみのいひこころに
しつゝのふとみあ

東條の御

世のさうじのいひしるもたはしとてさもむねわらあち
而そのさる申すしつゝのふとみあ

北條の御

滅女ももあちなるうらむにさのうらもさうらう
しつゝのね期乃らとては信多

土師門右大

天のころとくそあつてもゆとあつた御のそ
極楽院の御時を御付がなる多時法信多

大徳の御

袂にたつていひしるもたはしとてさもむねわらあち

おせ院の御

北條の御

ちりねとてふことらなるうやねもきりて
平尾と勝ゆ上人の房を今世の御付がなる多時法信多

わらあちの御時を御付がなる多時法信多
そもあちとてふことらなるうやねもきりて

北條の御

袂にたつていひしるもたはしとてさもむねわらあち
おせ院の御

北條の御

いひて今世ももかかたの世はうらみのいひこころに
しつゝのふとみあ

北條の御

世のさうじのいひしるもたはしとてさもむねわらあち
而そのさる申すしつゝのふとみあ

北條の御

秋山のゆかりのいしをきりきりしめしむる

あまのついで

よ年のしはあまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

ふりかへてのあまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

あまのついでにきりきりしめしむる

あまのついで

夕にわし神人の世にまふしんてうしんていんりんてい
別ありて

保後物部

何と多く物とてうしんていんていんていんていんていん
西ののち海をたるときは海のほとと波はたると
さぬのちとていんていんていんていんていん
世をたるといんていんていんていん

仁徳天皇

世のよちうしんていんていんていんていん
別ありて

仁徳天皇

昔本まは神のちとていんていんていんていん
崇徳天皇
とていんていんていんていんていん

崇徳天皇

龍田の地とていんていんていんていん
別ありて

崇徳天皇

夕にわし神人の世にまふしんてうしんていんていん
田原

田原

大方のちとていんていんていんていん
はゆらぬとていんていんていんていん
とていんていんていんていんていん

崇徳天皇

夕にわし神人の世にまふしんてうしんていんていん
仁徳天皇
とていんていんていんていん

仁徳天皇

おつちてらふはわらわの御物の御入とありふりか
馬甲もとりふりと後

若菜作末

今一とちふもあはれはあらのりまのあはれをいふ
秋のちとを法修る

若菜おち末

又さつちのつばらのあつちをらんらんはのとしうを
お大徳の是也

とらふはあつちのよしと秋のあつちを久保つてうを
月のあつちを法修る時

若菜おち末

あつちをらんらんをらんらんをらんらんをらんらん
月のあつちを法修る時

若菜おち末

秋の月とあつちのあつちをらんらんをらんらんをらんらん
極道のあつちを法修る時

若菜おち末

木しのかつちをらんらんをらんらんをらんらんをらんらん
若菜おち末

若菜おち末

いふも月とあつちのあつちをらんらんをらんらんをらんらん
若菜おち末

若菜おち末

おつちてらふはわらわの御物の御入とありふりか
馬甲もとりふりと後

若菜おち末

今一とちふもあはれはあらのりまのあはれをいふ
秋のちとを法修る

若菜おち末

又さつちのつばらのあつちをらんらんはのとしうを
お大徳の是也

若菜おち末

とらふはあつちのあつちをらんらんをらんらんをらんらん
月のあつちを法修る時

若菜おち末

あつちをらんらんをらんらんをらんらんをらんらん
秋の月とあつちのあつちをらんらんをらんらんをらんらん

若菜おち末

平俊形御后

らまよへんやらのむらサ思くをむろ原よ月やよりなり
而そのかみ中入月のかを流る流るなる 粟田比御后

まよふるうへはの凡ふえをを光とくはそ秋のよのついで
大膳御后

はふあけそめのみよひよまむ月の燈とくわらりりなるして
大膳御后

るちり水のさむむ敷もそは流りよそりる月うけ
大膳御后

あかりぬのうらめく月よ身をたてへし燈をけてすちる月うけ
はせち入ぬちたぬちめちよはりる時月毎秋女やとりとらと
平俊形御后

まよふるもちる時とらなる
平俊形御后

まよふるもちる時とらなる
平俊形御后

まよふるもちる時とらなる
平俊形御后

まよふるもちる時とらなる
平俊形御后

まよふるもちる時とらなる
平俊形御后

まよふるもちる時とらなる
平俊形御后

まよふるもちる時とらなる
平俊形御后

かみあはれのねまぬ乃ちたんとそ神をま保りうらほせむ多時うらり

精中物あまきり

いささかあまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのこみりいそあまうてむよちうしつて秋のよのしつ

あまのつゆ

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

古来隆行抄下

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

後巻は師

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

及国は師

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

あまのついでにあまのついでに

見廻は師

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

あまのついでにあまのついでに

古来大久修範

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

古来大久修範

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

けた巻田

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

後巻は師

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

及国は師

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

及国は師

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

後巻は師

あまのついでにあまのついでにあまのついでに

古来は師

はなれぬの御時た月十二夜月宴ちるまは侍る

大之内右大臣

はなれぬの御時た月十二夜月宴ちるまは侍る
十二夜月宴ちるまは侍る

初月あふらとらん

仁徳天皇御代

仁徳天皇御代
初月あふらとらん
仁徳天皇御代

仁徳天皇御代
初月あふらとらん

仁徳天皇御代

仁徳天皇御代
初月あふらとらん

仁徳天皇御代

仁徳天皇御代
初月あふらとらん

仁徳天皇御代

仁徳天皇御代

仁徳天皇御代
初月あふらとらん

仁徳天皇御代

仁徳天皇御代

仁徳天皇御代
初月あふらとらん

仁徳天皇御代

仁徳天皇御代

らりいんたのりかろいしけりかろいんたのりかろいんたのりか

月思菊花とくろいんたのりか

ちいんたのりかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりか

ふれ業ちかろいんたのりか

ちかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりか

東のちかろいんたのりか

ちかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりか

ちかろいんたのりかろいんたのりか

ちかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりか

膝西上人や居るを法縁池の法真ふかかろいんたのりか

ちかろいんたのりか

ちかろいんたのりか

ちかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりか

ちかろいんたのりか

ちかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりか

ちかろいんたのりか

ちかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりか

ちかろいんたのりか

ちかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりか

ちかろいんたのりか

ちかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりかろいんたのりか

ちかろいんたのりか

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

書寫

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short note.

院書

Handwritten text in cursive script, appearing to be a longer note or entry.

権中

Handwritten text in cursive script, likely a signature.

左大臣

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short note.

記

Handwritten text in cursive script, likely a signature.

期

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short note.

書

Handwritten text in cursive script, likely a signature.

書

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short note.

書

書

近衛院の御時禁を為さるるに似たりと云ふ

後深草御時

其の旨よりしるはるるに似たりと云ふに似たり

後深草御時

大井の御時禁を為さるるに似たりと云ふ

後深草御時

大井の御時禁を為さるるに似たりと云ふ

後深草御時

今更なる御時禁を為さるるに似たりと云ふ

後深草御時

三田の御時禁を為さるるに似たりと云ふ

後深草御時

其の旨よりしるはるるに似たりと云ふ

後深草御時

包入ぬ御時禁を為さるるに似たりと云ふ

後深草御時

あつたの御時禁を為さるるに似たりと云ふ

後深草御時

ちりつたの御時禁を為さるるに似たりと云ふ

後深草御時

株の御時禁を為さるるに似たりと云ふ

後深草御時

其の旨よりしるはるるに似たりと云ふ

後深草御時

千載和歌集卷第五

冬守

堀河の御時百そのちまのち時初々めを法依なる

大御ちち実

この工敷秋のちかちかしのはよまののれううのちあひし

原俊光御片

らうろう秋のまうと秋あまうまうり木のまよはれうう

高直仲実御片

秋のちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

秋のちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

秋のちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

大御ちち実

秋のちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

大御ち降李

秋のちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

かま後教也

秋のちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

高直仲実御片

秋のちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

高直仲実

秋のちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

高直仲実

秋のちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

秋のちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちかちか

初...
 堀門院の御対あるのちまひの御時である
 お中納言にさ
 うの尾上...
 後、原三左衛門
 御中納言の儀...
 後、原三左衛門
 冬の...
 後、原三左衛門

若こそつ...
 して...

祓...
 後、原三左衛門
 後、原三左衛門

与...
 後、原三左衛門
 後、原三左衛門

本...
 後、原三左衛門
 後、原三左衛門

子...
 後、原三左衛門
 後、原三左衛門

伝
 伝
 伝

Handwritten text in Arabic script, likely a title or introductory line.

Handwritten text in Arabic script, first line of the main body.

Handwritten text in Arabic script, second line of the main body.

Handwritten text in Arabic script, third line of the main body.

Handwritten text in Arabic script, fourth line of the main body.

Handwritten text in Arabic script, fifth line of the main body.

Handwritten text in Arabic script, sixth line of the main body.

Handwritten text in Arabic script, seventh line of the main body.

Handwritten text in Arabic script, eighth line of the main body.

Handwritten text in Arabic script, ninth line of the main body.

Handwritten text in Arabic script, tenth line of the main body.

Handwritten marginal note in Arabic script.

Handwritten marginal note in Arabic script.

Handwritten marginal note in Arabic script.

Handwritten marginal note in Arabic script.

Handwritten marginal note in Arabic script.

Handwritten marginal note in Arabic script.

Handwritten marginal note in Arabic script.

Handwritten marginal note in Arabic script.

Handwritten marginal note in Arabic script.

Handwritten marginal note in Arabic script.

中絶し定水

初めはけいひのついでにさうめんをひらきしるゝ

密に腹のついでにさうめんをひらきしるゝ

はらひのついでにさうめんをひらきしるゝ

後腹は原

さうめんをひらきしるゝ

後腹は原

さうめんをひらきしるゝ

後腹は原

さうめんをひらきしるゝ

後腹は原

さうめんをひらきしるゝ

後腹は原

さうめんをひらきしるゝ

後腹は原

さうめんをひらきしるゝ

後腹は原

さうめんをひらきしるゝ

後腹は原

さうめんをひらきしるゝ

後腹は原

さうめんをひらきしるゝ

後腹は原

さうめんをひらきしるゝ

塙門院の御時百首の御歌集の御歌集の御歌集

水鏡の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

可成の御歌集の御歌集の御歌集

しよはるるものりそる後いそめうくと昔のまらふなる計
後まけ部

ちあわのあへの性ふらふそらねうあのもむらうらう
内大石

あふまにせいしあわらうらあてを國のたし一いんれ
天々そそむ快

しよとのうらひひりあふらうらうてを春も句をち
あ大ゆき定也

うらうししうらとてそめあふうらう年のうらわら
お右内門あら光

いかりあそはるる年の昔よこえあら
お右内門あら光
年の昔よこえあら
お右内

あふまにせいしあわらうらあてを國のたし一いんれ
将宗はるる

あふまにせいしあわらうらあてを國のたし一いんれ
源光也

あふまにせいしあわらうらあてを國のたし一いんれ
お律師後宗

あふまにせいしあわらうらあてを國のたし一いんれ
氏了の教能

あふまにせいしあわらうらあてを國のたし一いんれ
あふまにせいしあわらうらあてを國のたし一いんれ

あふまにせいしあわらうらあてを國のたし一いんれ
あふまにせいしあわらうらあてを國のたし一いんれ

千載和分集卷第七

雜別行

雪塔の伎乃鏡一多ちとて書ける

為美実方物也

ちりーりーちりちりもあはれをさるにそらみのくさりのあ

右田大真ふちうちりちりちりあはれ

たけのこ

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちり

たけのこ

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

千載和分集

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちり

たけのこ

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちり

たけのこ

てはしほらふことなげらるるにけり

くさきくさきくさきくさき

と一（せう）人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

わらふことなげらるるにけり

人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

わらふことなげらるるにけり

と一（せう）人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

わらふことなげらるるにけり

くさきくさきくさきくさき

と一（せう）人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

わらふことなげらるるにけり

と一（せう）人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

くさきくさきくさきくさき

と一（せう）人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

わらふことなげらるるにけり

と一（せう）人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

わらふことなげらるるにけり

と一（せう）人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

くさきくさきくさきくさき

と一（せう）人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

わらふことなげらるるにけり

と一（せう）人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

わらふことなげらるるにけり

と一（せう）人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

わらふことなげらるるにけり

と一（せう）人（の）い（ふ）に（よ）りて（い）ふ（に）

天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年

天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年

天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年

天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年

天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年

天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年 天仁元年

らあはの国より入るといふ事からかたよき事と申すを

中院の若大旨の事と推し測るといふ事と申す

大御心

戦てはをぬる事と申すはのほかに申す事と申す

言ふ事と申す事と申す事と申す事

旅をぬる事と申す事と申す事と申す事

任事社の事と申す事と申す事と申す事

法徳

右近大御心

此の事と申す事と申す事と申す事

後世

かゝる事と申す事と申す事と申す事

保仲

此の事と申す事と申す事と申す事

大御心

此の事と申す事と申す事と申す事

此の事と申す事と申す事と申す事

保仲

此の事と申す事と申す事と申す事

形

此の事と申す事と申す事と申す事

大御心

此の事と申す事と申す事と申す事

保仲

此の事と申す事と申す事と申す事

死人の信を討ちやの多きよりなる状人のものをも
信の神の心をもちと生をきく

平雅宗

わらわしと其の心をわたりて人をよきとせしめし
ちまたの心をわたりて其の心をよきとせしめし

お中納言の信

ちとより人の信をきく其の心をよきとせしめし
たに多しとわたりて其の心をよきとせしめし
つとせしめし其の心をよきとせしめし
サなり信多しとわたりて其の心をよきとせしめし
中納言の信をきく其の心をよきとせしめし

権中納言の信

すゝめり信の心をよきとせしめし

権中納言の信

ちとより人の信をきく其の心をよきとせしめし
たに多しとわたりて其の心をよきとせしめし
つとせしめし其の心をよきとせしめし
サなり信多しとわたりて其の心をよきとせしめし
中納言の信をきく其の心をよきとせしめし

権中納言の信

ちとより人の信をきく其の心をよきとせしめし
たに多しとわたりて其の心をよきとせしめし
つとせしめし其の心をよきとせしめし
サなり信多しとわたりて其の心をよきとせしめし
中納言の信をきく其の心をよきとせしめし

ちとより人の信をきく其の心をよきとせしめし
たに多しとわたりて其の心をよきとせしめし
つとせしめし其の心をよきとせしめし
サなり信多しとわたりて其の心をよきとせしめし
中納言の信をきく其の心をよきとせしめし

権中納言の信

お茶をたのむ

お茶をたのむ
お茶をたのむ
お茶をたのむ

お茶をたのむ

お茶をたのむ
お茶をたのむ
お茶をたのむ

お茶をたのむ

お茶をたのむ
お茶をたのむ
お茶をたのむ

お茶をたのむ

お茶をたのむ
お茶をたのむ
お茶をたのむ

お茶をたのむ

お茶をたのむ
お茶をたのむ
お茶をたのむ

お茶をたのむ

お茶をたのむ
お茶をたのむ
お茶をたのむ

お茶をたのむ

お茶をたのむ
お茶をたのむ
お茶をたのむ

お茶をたのむ

お茶をたのむ
お茶をたのむ
お茶をたのむ

お茶をたのむ

つぎにむしつうつうあつたのくらつた
大炊師のお大層なれはなせり母の二任乃りやう
そのつあつうけり

七ツとくらのねは一の神とよま分けけりやう
二任を母

椀果のおきを油にさらしはひひあつたけをいれやう
はまりだえちもほのせけを別段とけちのひき
仁ね入はれ

なつとくあつたやうにけり
二条比ふねもほのせけのねはひき

は平造り
つぎにむしつうあつたのくらつた
大炊師のお大層なれはなせり母の二任乃りやう

そのつあつうけり
右大層

母の二任を母
とくらのねは一の神とよま分けけりやう

母の腹はひき又は二任を母
右大層

つぎにむしつうあつたのくらつた
大炊師のお大層なれはなせり母の二任乃りやう

そのつあつうけり
右大層

母の二任を母
とくらのねは一の神とよま分けけりやう

母の腹はひき又は二任を母
右大層

つぎにむしつうあつたのくらつた
大炊師のお大層なれはなせり母の二任乃りやう

母のむすぶうとまゝの時流る

所限は時

いふはちかたかたてとむすぶうとまゝの時流る

母のむすぶうとまゝの時流る

田位は時

わがむすぶうとまゝの時流る

母のむすぶうとまゝの時流る

田位は時

いふはちかたかたてとむすぶうとまゝの時流る

田位は時

いふはちかたかたてとむすぶうとまゝの時流る

田位は時

千載和歌集巻第十

歌

みよかましゝりる時をぬるもむすぶうとまゝの時流る

とやまの時のあつとむすぶうとまゝの時流る

と流るるむすぶう

いふはちかたかたてとむすぶうとまゝの時流る

田位は時

いふはちかたかたてとむすぶうとまゝの時流る

田位は時

いふはちかたかたてとむすぶうとまゝの時流る

いふはちかたかたてとむすぶうとまゝの時流る

いふはちかたかたてとむすぶうとまゝの時流る

あつたのちつとて復たう代りし事いふけと久人とすしむ
保治三年は全別度より奉りしを兼てふ由状とりしを
いふはあつた世の事なりは後述す
是の代りし事いふけと久人とすしむは復たう代りし事いふけと久人とすしむ

いふはあつた世の事なりは後述す
是の代りし事いふけと久人とすしむは復たう代りし事いふけと久人とすしむ

あつたのちつとて復たう代りし事いふけと久人とすしむ
保治三年は全別度より奉りしを兼てふ由状とりしを
いふはあつた世の事なりは後述す
是の代りし事いふけと久人とすしむは復たう代りし事いふけと久人とすしむ

いふはあつた世の事なりは後述す
是の代りし事いふけと久人とすしむは復たう代りし事いふけと久人とすしむ

あつたのちつとて復たう代りし事いふけと久人とすしむ
保治三年は全別度より奉りしを兼てふ由状とりしを
いふはあつた世の事なりは後述す
是の代りし事いふけと久人とすしむは復たう代りし事いふけと久人とすしむ

あつたのちつとて復たう代りし事いふけと久人とすしむ
保治三年は全別度より奉りしを兼てふ由状とりしを
いふはあつた世の事なりは後述す
是の代りし事いふけと久人とすしむは復たう代りし事いふけと久人とすしむ

くみ代とくみ代といふものやまうり平井のちうちのちうち
用院のあまをばておね事敷と云ふこと流儀なり

子きめる尾上のおねうらうらうにてあ代よそのあといふをさわ

原通徳御在

あせとてしつらあせとてしつらねてもあうあうあうあうあ
い金院の御時内表ふまうりねたままうりの御時あああああ
あうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ
あうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ
入れたる尾上をうり中院のあま位位あうあうあうあうあうあ

原通徳御在

あうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ
後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後

から成成

あうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ
後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後

あうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ
長長院の御時あうあうあうあうあうあうあうあうあうあう

あうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ
あ代あうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあう

あうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ
白うあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあう

あうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ
院あうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあ

おとこ

おとこの末(うら)は... 村のあり

平次元吉... 村のあり

おとこ

おとこのおとこ... 村のあり

おとこのおとこ... 村のあり

おとこ

おとこのおとこ... 村のあり

おとこのおとこ... 村のあり

おとこ

おとこのおとこ... 村のあり

おとこのおとこ... 村のあり

おとこ

おとこのおとこ... 村のあり

おとこのおとこ... 村のあり

おとこのおとこ... 村のあり

おとこ

おとこのおとこ... 村のあり

おとこ

おとこのおとこ... 村のあり

おとこ

おとこのおとこ... 村のあり

おとこ

おとこのおとこ... 村のあり

おとこ

おとこのおとこ... 村のあり

千載和方集卷第十一

一

松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、
おなじやうに、おなじやうに、

原宿の松

あつちの松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

二条の松

あつちの松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

三條の松

あつちの松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

あつちの松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

あつちの松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

あつちの松

若菜の松

あつちの松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

あつちの松

若菜の松

あつちの松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

あつちの松

あつちの松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

若菜の松

あつちの松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

若菜の松

あつちの松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

あつちの松

あつちの松の葉の雨打るるの音は、昔も今も、

Handwritten title or header at the top of the page.

Main body of handwritten text, first line.

Handwritten note or signature below the first line.

Main body of handwritten text, second line.

Handwritten note or signature below the second line.

Main body of handwritten text, third line.

Handwritten note or signature below the third line.

Main body of handwritten text, fourth line.

Handwritten note or signature below the fourth line.

Main body of handwritten text, fifth line.

Handwritten note or signature below the fifth line.

Main body of handwritten text, sixth line.

Handwritten note or signature below the sixth line.

Main body of handwritten text, seventh line.

Handwritten note or signature below the seventh line.

Main body of handwritten text, eighth line.

Handwritten note or signature below the eighth line.

Main body of handwritten text, ninth line.

Handwritten note or signature below the ninth line.

Main body of handwritten text, tenth line.

Handwritten note or signature below the tenth line.

Main body of handwritten text, eleventh line.

Handwritten note or signature below the eleventh line.

Handwritten text at the top of the right page.

Handwritten text at the bottom of the right page.

Handwritten text in the middle of the right page.

Handwritten text below the middle of the right page.

Handwritten text in the middle of the right page.

Handwritten text below the middle of the right page.

Handwritten text in the middle of the right page.

Handwritten text below the middle of the right page.

Handwritten text in the middle of the right page.

Handwritten text below the middle of the right page.

Handwritten text in the middle of the right page.

Handwritten text below the middle of the right page.

Handwritten text in the middle of the right page.

Handwritten text at the top of the left page.

Handwritten text at the bottom of the left page.

Handwritten text in the middle of the left page.

Handwritten text in the middle of the left page.

Handwritten text below the middle of the left page.

Handwritten text in the middle of the left page.

Handwritten text in the middle of the left page.

Handwritten text below the middle of the left page.

Handwritten text in the middle of the left page.

Handwritten text in the middle of the left page.

Handwritten text in the middle of the left page.

Handwritten text in the middle of the left page.

Handwritten text in the middle of the left page.

Handwritten text in the middle of the left page.

Handwritten text in Arabic script, top line.

Handwritten text in Arabic script, second line.

Handwritten text in Arabic script, third line.

Handwritten text in Arabic script, fourth line.

Handwritten text in Arabic script, fifth line.

Handwritten text in Arabic script, sixth line.

Handwritten text in Arabic script, seventh line.

Handwritten text in Arabic script, eighth line.

Handwritten text in Arabic script, ninth line.

Handwritten text in Arabic script, tenth line.

Handwritten text in Arabic script, eleventh line.

Handwritten text in Arabic script, twelfth line.

Handwritten text in Arabic script, thirteenth line.

Handwritten text in Arabic script, fourteenth line.

Handwritten text in Arabic script, fifteenth line.

Handwritten text in Arabic script, sixteenth line.

Handwritten text in Arabic script, seventeenth line.

Handwritten text in Arabic script, eighteenth line.

Handwritten text in Arabic script, nineteenth line.

Handwritten text in Arabic script, twentieth line.

Handwritten text in Arabic script, twenty-first line.

Handwritten text in Arabic script, twenty-second line.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry, starting with a date or time indicator.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a specific note.

Handwritten text in a cursive script, appearing to be a separate section or entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text on the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a closing or a specific instruction.

Handwritten text in a cursive script, ending the entry or letter.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry, starting with a date or time indicator.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a specific note.

Handwritten text in a cursive script, appearing to be a separate section or entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text on the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a closing or a specific instruction.

Handwritten text in a cursive script, ending the entry or letter.

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

酒人志

権中納言藤原正家

大納言

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

・ 歌あはれ

もきとたはら

たつたはらふことごとくしるもわかれしゆにゆるやと

二年末をたはら

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

白河院三条殿ふゆをゆきしるもわかれしゆにゆるやと

にふゆはらふことごとくしるもわかれしゆにゆるやと

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

権中納言藤原正家

あはれなることごとく

藤原正家

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

あはれなることごとくかみきりしるもわかれしゆにゆるやと

いかに
ほ雅克

いかに
若夫主

いかに
中院入
若夫主

いかに
いかに
若夫主

いかに
いかに
院中

いかに
いかに
院中

いかに
いかに
院中

いかに
いかに
院中

いかに
いかに
院中

いかに
いかに
院中

いかに
いかに
院中

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It consists of several lines of text, with some lines appearing to be part of a larger paragraph or section. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting. The text is written in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It consists of several lines of text, with some lines appearing to be part of a larger paragraph or section. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting. The text is written in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It consists of several lines of text, with some lines appearing to be part of a larger paragraph or section. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

後には一

はるかに神の御心は

はるかに

神の御心は

はるかに

神の御心は

はるかに

神の御心は

はるかに

神の御心は

はるかに

神の御心は

神の御心は

神の御心は

神の御心は

神の御心は

神の御心は

神の御心は

神の御心は

神の御心は

神の御心は

神の御心は

神の御心は

其書亦見

すらすらと書かざる神とむかしの御事なり
あかしの御事なり

後百は師

あかしの御事なり

其書は師

すらすらと書かざる神とむかしの御事なり

其書は師

あかしの御事なり

あかしの御事なり

其書は師

あかしの御事なり

其書は師

あかしの御事なり

其書は師

あかしの御事なり

其書は師

あかしの御事なり

其書は師

あかしの御事なり

其書は師

あかしの御事なり

其書は師

あかしの御事なり

其書は師

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten signature or name.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten signature or name.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten signature or name.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten signature or name.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten signature or name.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten signature or name.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten signature or name.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

中院の右に中野の村あり

此の村あり

此の村あり

此の村あり

此の村あり

此の村あり

此の村あり

此の村あり

此の村あり

此の村あり

此の村あり

此の村あり

此の村あり

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 15 lines across the page. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear.

いふもあまうたふとつとふに神の海よりとらふとらふ

まかすけりけしつと後より根多しとらふとらふ

中節廻りぬりてあつたふらふ

つちと花のちとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

あつたふらふとあつたふらふ

Handwritten text in cursive script, likely a page header or introductory line.

Handwritten text in cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in cursive script, continuing the narrative or list.

馬ノ一

法ノ一

Handwritten text in cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in cursive script, continuing the narrative or list.

千載和歌集巻第十四

二六十四

和歌一首

和歌一首

ふたつとてあはれなるよのこころは
いづれかたはらむとてあはれなる
あはれなるよのこころは
あはれなるよのこころは

あはれなるよのこころは
あはれなるよのこころは
あはれなるよのこころは

和歌一首

あはれなるよのこころは
あはれなるよのこころは
あはれなるよのこころは

あはれなるよのこころは

和歌一首

あはれなるよのこころは
あはれなるよのこころは
あはれなるよのこころは

あはれなるよのこころは

あはれなるよのこころは
あはれなるよのこころは
あはれなるよのこころは

和歌一首

あはれなるよのこころは
あはれなるよのこころは
あはれなるよのこころは

和歌一首

和歌一首

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Vertical handwritten text on the right side of the page.

Vertical handwritten text on the right side of the page.

Vertical handwritten text on the right side of the page.

Vertical handwritten text on the right side of the page.

Vertical handwritten text on the right side of the page.

Vertical handwritten text on the right side of the page.

Vertical handwritten text on the right side of the page.

Vertical handwritten text on the right side of the page.

Vertical handwritten text on the right side of the page.

Handwritten text in Arabic script, first line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, second line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, third line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, fourth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, fifth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, sixth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, seventh line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, eighth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, ninth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, tenth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, eleventh line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, twelfth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, thirteenth line on the left page.

Handwritten text in Arabic script, first line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, second line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, third line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, fourth line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, fifth line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, sixth line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, seventh line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, eighth line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, ninth line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, tenth line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, eleventh line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, twelfth line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, thirteenth line on the right page.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, covering the top half of the page.

Handwritten signature or name in the middle of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, covering the bottom half of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal note or letter.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous entry.

はるる

はるる

はるる

はるる

はるる

はるる

はるる

はるる

はるる

はるる

千載和言集卷第十五

高弁五

別名

相模

~~~~~

和名

~~~~~

~~~~~

~~~~~

和名

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~



あつちの洋よりあつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

あつちのうまき入はるをきらるる  
あつちのうまき入はるをきらるる

Handwritten text in Arabic script, first line on the left page.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, second line on the left page.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, third line on the left page.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, fourth line on the left page.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, fifth line on the left page.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, sixth line on the left page.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, first line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, second line on the right page.

Handwritten text in Arabic script, third line on the right page.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, fifth line on the right page.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, sixth line on the right page.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, seventh line on the right page.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, eighth line on the right page.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, ninth line on the right page.

Handwritten text in a cursive script, likely a title or header.

Handwritten text in a cursive script, possibly a date or location.

Main body of handwritten text in a cursive script, consisting of several lines.

Second line of handwritten text in a cursive script.

Third line of handwritten text in a cursive script.

Fourth line of handwritten text in a cursive script.

Fifth line of handwritten text in a cursive script.

Sixth line of handwritten text in a cursive script.

Seventh line of handwritten text in a cursive script.

Eighth line of handwritten text in a cursive script.

Ninth line of handwritten text in a cursive script.

Tenth line of handwritten text in a cursive script.

Eleventh line of handwritten text in a cursive script.

Twelfth line of handwritten text in a cursive script.



千載和歌集卷第十六

雜行上

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

うらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

上東門をうらふ人かこゝろのむねなる時流のさ

Handwritten text in Arabic script, first line.

Handwritten text in Arabic script, second line.

Handwritten text in Arabic script, third line.

Handwritten text in Arabic script, fourth line.

Handwritten text in Arabic script, fifth line.

Handwritten text in Arabic script, sixth line.

Handwritten text in Arabic script, seventh line.

Handwritten text in Arabic script, eighth line.

Handwritten text in Arabic script, ninth line.

Handwritten text in Arabic script, tenth line.

Handwritten text in Arabic script, eleventh line.

Handwritten text in Arabic script, twelfth line.

Handwritten text in Arabic script, thirteenth line.

Handwritten text in Arabic script, fourteenth line.

Handwritten text in Arabic script, fifteenth line.

たし一節多事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
のみにあつていふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事

いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事

いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事

いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事  
いふ事なき事とて井原の海にきく事なき事

三島市 磯子 稲田のいよゝのわらわらとてつくりはる  
とそらとてはるる  
権中帥一実徳

神とてまるともまるともいよゝのわらわらとてつくりはるる  
月あきとりのいよゝ

とよんてまるともまるともいよゝのわらわらとてつくりはるる  
丹のわらわらとてつくりはるる

いよゝのわらわらとてつくりはるる  
いよゝのわらわらとてつくりはるる

いよゝのわらわらとてつくりはるる  
いよゝのわらわらとてつくりはるる

いよゝのわらわらとてつくりはるる  
いよゝのわらわらとてつくりはるる

いよゝのわらわらとてつくりはるる  
いよゝのわらわらとてつくりはるる

いよゝのわらわらとてつくりはるる  
いよゝのわらわらとてつくりはるる

いよゝのわらわらとてつくりはるる  
いよゝのわらわらとてつくりはるる

いよゝのわらわらとてつくりはるる  
いよゝのわらわらとてつくりはるる

いよゝのわらわらとてつくりはるる  
いよゝのわらわらとてつくりはるる

いよゝのわらわらとてつくりはるる  
いよゝのわらわらとてつくりはるる

いよゝのわらわらとてつくりはるる  
いよゝのわらわらとてつくりはるる



ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

佐々木信

後時ノ後ニ月ノクニヤカキニヤカキニヤカキニヤカキニヤカキ

加藤成保

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

加藤成保

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

加藤成保

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

加藤成保

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

加藤成保

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

ハニヤカキリヤカシノイニヤウワセテ後時ノ後ニ月ノクニヤカキ

いかにせいのころにほいなるわりのとくをそむるの月  
みのちりちりさかひにふりておぼなる月のおりしらくは  
なれりしる

仁孝はたは親を道徳

木の片からおぼるのひとくはしるにゆゑにゆゑにゆゑに  
日のちりちりおぼる

天性は教を

しものひとくはしるにゆゑにゆゑにゆゑにゆゑにゆゑに  
指中ゆゑにゆゑに

ちりちりしるはちりちりしるはちりちりしるはちりちりしる  
殿上ゆゑにゆゑにゆゑにゆゑにゆゑに

慈母の家

いかにせいのころにほいなるわりのとくをそむるの月  
おぼるはちりちりしるはちりちりしるはちりちりしる

慈母の家

いかにせいのころにほいなるわりのとくをそむるの月  
おぼるはちりちりしるはちりちりしるはちりちりしる

八条院二条

いかにせいのころにほいなるわりのとくをそむるの月  
おぼるはちりちりしるはちりちりしるはちりちりしる

は下実隆

いかにせいのころにほいなるわりのとくをそむるの月  
おぼるはちりちりしるはちりちりしるはちりちりしる

孝弟隆親

いかにせいのころにほいなるわりのとくをそむるの月  
おぼるはちりちりしるはちりちりしるはちりちりしる

田舎は師

いかにせいのころにほいなるわりのとくをそむるの月  
おぼるはちりちりしるはちりちりしるはちりちりしる

いかにせいのころにほいなるわりのとくをそむるの月  
おぼるはちりちりしるはちりちりしるはちりちりしる

後世は師



一五〇から一六〇の甲より一七〇から一八〇の乙の間のSと  
二名所の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

一〇〇から一〇五の甲より一〇五から一〇七の乙の間のSと  
堀内院の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

一〇七から一〇九の甲より一〇九から一一〇の乙の間のSと  
堀内院の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

一一〇から一一二の甲より一一二から一一三の乙の間のSと  
堀内院の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

一一三から一一五の甲より一一五から一一六の乙の間のSと  
堀内院の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

一一六から一一八の甲より一一八から一二〇の乙の間のSと  
堀内院の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

一二〇から一二二の甲より一二二から一二三の乙の間のSと  
堀内院の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

一二三から一二五の甲より一二五から一二六の乙の間のSと  
堀内院の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

一二六から一二八の甲より一二八から一二九の乙の間のSと  
堀内院の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

一二九から一三一の甲より一三一から一三二の乙の間のSと  
堀内院の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

一三二から一三四の甲より一三四から一三五の乙の間のSと  
堀内院の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

一三五から一三七の甲より一三七から一三八の乙の間のSと  
堀内院の御時御代を述べたるものとす。後述する

（一）  
（二）

海を廻るに必ふうてねばをうてしめをうてうてなるを有ま  
ふうてうてうてうてうてうてうてうてうてうてうてうて  
けきけりねのかりとけりてあ付付多 海を廻るに必ふうて  
人こころあしをなれとも何去のね乃けうてうてうてうて  
昔や既とにや

中絶を絶也

向ふふぬうのやせや一きせし物ちなる既のまふうて  
こうれちをさうぬうてこねるねあ付付多うてうて

あふゆうて

既のまふうてうてうてうてうてうてうてうてうて  
尾凡ふ既なるちとにや

若葉長絶

あけららるちうひひひひひひひひひひひひひひひひひひ  
二葉あちる既布川の既と何なる時流ちなる

二葉右大田

氷の色乃きうてうてうてうてうてうてうてうてうて  
既のまふぬうて仙業エち付付多

張因代原

若葉うてのせうてうてうてうてうてうてうてうて  
甲一既のぬんとにや

若葉は常絶ト

他人のむうて流とにやにわもあうてうてうてうて  
布川の既とにや

若葉長絶

まふのこせうてうてのせうてうてうてうてうて  
むらのは流とにや

若葉長絶

ふてあしむらのは流乃糖うてうてうてうてうて  
海を廻るに必ふうてうてうてうてうて

あふゆうてうてうてうてうてうてうてうて

しついでに... 印一

... 楮中ゆ

... 将理

... 候後

... 楮

... 楮

... 楮

... 楮

... 楮

... 楮

... 楮

... 楮

... 楮

... 楮

... 楮

... 楮

... 楮

... 楮

千載和弁集卷第十七

新古今

二十雨雲とて又のどは春をね風の吹よけうらら雨あのをむと  
雨りんしそ流せはあなる まねた雨あむ

ららうら白ひとそくふ極むほのさるそくまわらうらる人んく  
あむあめらと流けなる 仁むまねたは秋まね

とくあはとてうらとそく極むこくせう流せしうらうらわら  
傍野れ定めまうそね又の春は春神定渡のむ感なる

とらそ流けなる

傍ら野は

あまよとあまよとくうらうらあまよとあまよとくうらうら

うらうらうらうらうらあまよのあまよのうらうらうらうらうらうら  
あまようらうらうらとくそ流けなる あまようらうらうら

くそ流けなる あまようらうらうら  
流世のなむのうらとくうらなる あまようらうらうら

手の上乃春てもあまようらうらあまよのあまよのうらと  
あまよあまよくうらうらあまよあまよのあまよのうらと

而春とあまよあまよとあまようらうらうらうらうらうら  
あまよ あまようら

うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

あまようら

今うらとあまよあまよあまよあまよあまよあまよあまよあまよ  
あまよあまよあまよあまよあまよあまよあまよあまよあまよ

うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら  
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

夜中一宿の事

ては、わが身をいかに守らばと、思ふに、

ちかぢか、うらやまを、いかに、いかに、

は、いかに、いかに、

おのれ、と、ちかぢか、と、思ふ、の、ま、り、

や、か、と、い、う、う、は、は、は、は、は、は、

ま、う、と、い、う、と、い、う、と、い、う、と、

う、と、い、う、と、い、う、と、い、う、と、

除日の事

は、いかに、いかに、

う、と、い、う、と、い、う、と、い、う、と、

は、いかに、いかに、

う、と、い、う、と、い、う、と、い、う、と、

は、いかに、いかに、

う、と、い、う、と、い、う、と、い、う、と、

は、いかに、いかに、

う、と、い、う、と、い、う、と、い、う、と、

は、いかに、いかに、

う、と、い、う、と、い、う、と、い、う、と、

は、いかに、いかに、

う、と、い、う、と、い、う、と、い、う、と、

は、いかに、いかに、

う、と、い、う、と、い、う、と、い、う、と、

は、いかに、いかに、

う、と、い、う、と、い、う、と、い、う、と、

は、いかに、いかに、

う、と、い、う、と、い、う、と、い、う、と、



うとらういふ世のまふらうと暮らぬのねらうあはれ

ちかううは成まよふりかを聖のまらぬのあをを流

けりきり おまねよまは成

りりふましむうとまらぬあまらぬまらぬとらぬ

依もは家とりりりりりり 原まらねん

らりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

田はけけりすちかき方その方の甲まむのちとをうら

原まらねん

らりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

ものちとをうら 原まらねん

らりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

ちかきあをうて流はる 原まらねん

高倉院表のちの時様まよはるまよはるまよはる

比が成社のちをうら 原まらねん

原まらねん

位らむとらうとをうら 原まらねん

葉は流の時十五早うまらりりりりりりりりりり

原まらねん

うすうらねらうのいりりりりりりりりりりりり

原まらねん

物らりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

原まらねん

ねらうのちとをうら 原まらねん

原まらねん

ねらうのちとをうら 原まらねん



いづも入りの後載えりてあそびの旨よくあは  
田上り山はむねはなれをけりりおねはなる

原後れ都下

橋の戸とこふさうはあつてあつてあつてあつて  
山田の原はむねはなれをけりりおねはなる

梅盛長

小山田の原はむねはなれをけりりおねはなる  
堀内院乃御時る平けが守るる時出雲のふとあつて

二条大を大后大肥後

山田の原はむねはなれをけりりおねはなる  
と月の内はむねはなれをけりりおねはなる  
とわりのふとあつてあつてあつてあつて  
おねはなる

若平を後

女のかまはむねはなれをけりりおねはなる  
おねはなる

若平を後

おねはなる  
おねはなる

若平を後

おねはなる  
おねはなる

若平を後

おねはなる  
おねはなる

若平を後

おねはなる  
おねはなる  
おねはなる  
おねはなる  
おねはなる  
おねはなる  
おねはなる  
おねはなる  
おねはなる  
おねはなる

若平を後

あつの板戸のれは寝しあつて若のよいそあひいそあれ  
ふー

谷風のめきうもよるあつめあひりそよそあひいりつれ  
あつゆきりた入あつてもきよはきよ時侯のせあ果は服を  
そよそつちあき

あつてあついのくさわとらあつてあつてあつて  
ふー

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

年のあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて  
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

権ちあつてあつて

木ののこころとてはなれどもさかすまの光りては  
仁徳は夜と半光  
流しとせせとのうらみはなれども人の光のこころなかり  
休懐のらとてはなれども

あつとせせとのうらみはなれども人の光のこころなかり  
休懐のらとてはなれども

お大徳らそと

やうとせせとのうらみはなれども人の光のこころなかり  
休懐のらとてはなれども

あつとせせとのうらみはなれども人の光のこころなかり  
休懐のらとてはなれども

あつとせせとのうらみはなれども人の光のこころなかり  
休懐のらとてはなれども

あつとせせとのうらみはなれども人の光のこころなかり  
休懐のらとてはなれども

あつとせせとのうらみはなれども人の光のこころなかり  
休懐のらとてはなれども

あつとせせとのうらみはなれども人の光のこころなかり  
休懐のらとてはなれども

あつとせせとのうらみはなれども人の光のこころなかり  
休懐のらとてはなれども

あつとせせとのうらみはなれども人の光のこころなかり  
休懐のらとてはなれども

あつとせせとのうらみはなれども人の光のこころなかり  
休懐のらとてはなれども



うらみあふらふらうまをそらうたれけせのたまはれあさけり  
あそびあまのむすむすのむすむす

現をこころとこころのこころはあまのこころをこころ  
よしのこころのこころのこころのこころのこころ

いねあまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

今頃は花の香もあまのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あまのこころのこころのこころのこころのこころ

あなはしんせいの民もあかしくそのよすえその神

祭はけ師

よのついでにふたつとあたまをくねらへてのうわりの

後置のたて

しんじつとさうじつ一雙のあたまをくねらへてのうわりの

あはけ師

まじりあたまをくねらへてのうわりのあたまをくねらへて

ふたつ院定

あたまをくねらへてのうわりのあたまをくねらへて

二条院定

あたまをくねらへてのうわりのあたまをくねらへて

あたまをくねらへてのうわりのあたまをくねらへて

祭はけ師

元仁は師

大舟のあたまのあたまをくねらへてのうわりのあたまをくねらへて

あたまをくねらへてのうわりのあたまをくねらへて

大仁は師

あたまをくねらへてのうわりのあたまをくねらへて

は服是是

あたまをくねらへてのうわりのあたまをくねらへて

祭はけ師

あたまをくねらへてのうわりのあたまをくねらへて

元仁は師

あたまをくねらへてのうわりのあたまをくねらへて

あたまをくねらへてのうわりのあたまをくねらへて





うねりうをよまの袖まをすつむがもちううなるたのぬふ  
 今よの柳時五景の記はけしやあちやもあつあつよここちを  
 とらつて取上除くあてはるるその事と書ふる又のとれ除き  
 の一は取除く柳多ううぬうこくし左サ年定もはつて中は  
 なるよき入てはるる

さあつちのせらふまのり、年をそまあといふや「きをそつ」こ  
 けうとまう「やちをわらう」ううらをわうもあましく  
 今をたや還舞舞位とくくまふこくし柳多うううたふらふ  
 こくの久し作つては口と作せられたるはをきり多

言らつた「あまをうてうらこぬう」こくをみまのあまをうら  
 け屋の柳時ひきの方のあてはふことあつてもあつた時の人かはる

千載和歌集巻第十八

雑詩下 雑躰

短詩 堀内院柳時而そらまき多時述懐の詩とくふらもをよまの事

|       |        |       |     |
|-------|--------|-------|-----|
| せうり   | せいのあつた | まうらうり | あつた |
| あなうれと | あなうれと  | まうらうり | あつた |
| さうこり  | さうこり   | まうらうり | あつた |
| あなれと  | あなれと   | まうらうり | あつた |
| うらひち  | うらひち   | まうらうり | あつた |
| あなれと  | あなれと   | まうらうり | あつた |
| うらひち  | うらひち   | まうらうり | あつた |

Handwritten text in a cursive script, organized into four columns. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, organized into four columns. The text is dense and fills most of the page.

あつちいひ 宮庭のた乃 つれごと じしつしんを  
うきうちを あそびあやせ ちま乃 人のまじり  
よのひらう 丹心あやせ 心まじり とうまじり  
やまのの りゆうらふあ くらまじり せまじり  
うらうらう ねとつよ じかあせ せまじり  
しのぶ乃 せむのた乃 くらまじり くらまじり  
くらうー くらまはな せまじり くらまじり

世にいらひあひしんしんてあまやのしんたをまじり  
あそびあやせ くらまはな せまじり くらまじり  
あつちいひ 宮庭のた乃 つれごと じしつしんを  
うきうちを あそびあやせ ちま乃 人のまじり  
よのひらう 丹心あやせ 心まじり とうまじり  
やまのの りゆうらふあ くらまじり せまじり  
うらうらう ねとつよ じかあせ せまじり  
しのぶ乃 せむのた乃 くらまじり くらまじり  
くらうー くらまはな せまじり くらまじり

あつちいひ 宮庭のた乃 つれごと じしつしんを  
うきうちを あそびあやせ ちま乃 人のまじり  
よのひらう 丹心あやせ 心まじり とうまじり  
やまのの りゆうらふあ くらまじり せまじり  
うらうらう ねとつよ じかあせ せまじり  
しのぶ乃 せむのた乃 くらまじり くらまじり  
くらうー くらまはな せまじり くらまじり





Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

Handwritten text on the right page, starting with a large character.

Handwritten text on the right page, continuing the main body of text.

Handwritten text on the right page, including a signature or name.

Handwritten text on the right page, possibly a date or specific reference.

Handwritten text on the right page, continuing the main body of text.

Handwritten text on the right page, including a signature or name.

Handwritten text on the right page, possibly a date or specific reference.

Handwritten text at the bottom of the right page.

Handwritten text at the top of the left page, possibly a title or header.

Handwritten text on the left page, starting with a large character.

Handwritten text on the left page, continuing the main body of text.

陽我史地意とり入るふとよあ

野明法師

板のしりしりまやまのつゆしりまやま

坪の院の市村をまよふらゝまをまよふ

常竹のちりまはまのまをまよふらゝま

旅三

原後れ郡下

ちりしりまのまのまのまのまのま

百まのまのまのまのまのまのま

ちりしりまのまのまのまのまのま

ちりしりまのまのまのまのまのま

人のまのまのまのまのまのま

ちりしりまのまのまのまのまのま

えんは師

あまのまのまのまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのま

あまのまのまのまのまのまのま



しむらひの光の文字を... 是の如く

の如く

法信

つらむらひの... 法信

山崎の如く

法信

つらむらひの... 法信

山崎の如く

法信

つらむらひの... 法信

山崎の如く

山崎の如く

山崎の如く

千載和方集卷第十九

釋教寺

維摩經十喻... 池乃... 法信

法信

いふ... 法信

いふ... 法信

いふ... 法信

いふ... 法信

いふ... 法信

いふ... 法信

いふ... 法信

いふ... 法信

二人の浮きうらゝぬOのひんちくはしはさる

信好花巻

かきあそとうらむ(註)おのこをいふはつとていふは  
はなれぬ時を言ふは二舟は付養とてはるる時多事  
のらそいふは

信好花巻

月うけつひのふはあふのせとてあつてせのさういふ  
お月余花巻とていふは法信なる 堀り入はたは  
入月とていふは人のあふにんをいふはめつとていふ  
天さきとていふは金物とていふは法信なる

信好花巻

おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは

信好花巻

おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは

信好花巻

おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは

信好花巻

おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは  
おつとていふはさそきとていふはさそきとていふは

陸奥王子の受持はも名若福不可量何況擁護具足受  
持といふも痛しと持持者の法縁もなりとや信らん  
ふん信らん

お大信三快信

うねいそをたをふかりしんうねいそをたをふかりしん  
の法院の十二光仏の布衣と信信らん中々  
信信らん

信信信信信

よ人の心乃中とよなふしんうねいそをたをふかりしん  
百千ちちうの時業門おん信信深如法の心と信信らん

信信信信信

たふしんうねいそをたをふかりしんうねいそをたをふかりしん  
一うその時業門おん信信深如法の心と信信らん

信信信信信

即身成佛のころと  
とる月のころとよなふしんうねいそをたをふかりしん

信信信信信  
お大信信信信

うねいそをたをふかりしんうねいそをたをふかりしん  
そのは信入は教えんやとて信信らん

信信信信信

うねいそをたをふかりしんうねいそをたをふかりしん  
信信信信信

信信信信信

百千ちちの中は信の心は信信信信信  
式子信信信

信信信信信

百五十箇の巻も作る時は文の可し又巻の果と改付する事  
多世の巻の可し改付する

抄改巻の可し

人にていふ事あり是の巻の可し又改付する事  
維摩經十餘は巻の中月と改付する事あり  
是の巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり

はも此巻の内秘菩薩の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
抄改巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり

抄改巻の可し

此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり

此巻の可し

此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり  
此巻の可し又改付する事あり

らうふいあり

神祇伯取仲

りいひいひ池よりけいそじいぬわさるるやちんとさめあひ

宗鏡は師

朽とらうゆふういういしむちとんけのゆけさうそん

宗鏡は師

らる程いさきいさきともいれぬいりうと今ハ規とありと

宗鏡は師

あとううぬいふうそとうううたれとさうさせといさくとさう

宗鏡は師

雙とこせめいふいしりちち若めいふとさういひめいし

宗鏡は師

はむ也い若書のいとさる

宗鏡は師

春下らうけいけいおとほの場ちうううけいもとけうらう

宗鏡は師

接池子のいとさる

宗鏡は師

ここのいさけいさうとていさう物と月さむえよて有

宗鏡は師

は師若也い望生活決定知通水のいとさる

宗鏡は師

むやのいりういひひりちる物とうれい水のちううらうらう

宗鏡は師

谷やとむさうらうういひのわちとむと通る友とさうらん

宗鏡は師

初也若といさる

宗鏡は師

朽ちるるやうくはしむるの板田のちも今うらやまじ

若手教仲

うらやまのやうくはしむるの板田のちも今うらやまじ

神カサレ日月光の能隆法遠真のちも今うらやまじ

道上げ師

日の光月の光もしてはるるうらやまのちも今うらやまじ

勅登子のちも今うらやまじ

寛文のちも今うらやまじ

いふもをりてはるるうらやまのちも今うらやまじ

漢三十七の巴里から白鳥のちも今うらやまじ

中東のちも今うらやまじ

はるるうらやまのちも今うらやまじ

吉田のちも今うらやまじ

中東のちも今うらやまじ

朝まのちも今うらやまじ

山階のちも今うらやまじ

若手教仲

年月のちも今うらやまじ

涅槃のちも今うらやまじ

はるるうらやまのちも今うらやまじ

史盛久のちも今うらやまじ

若手教仲

阿波のちも今うらやまじ

阿波のちも今うらやまじ

若手教仲

天正のちも今うらやまじ

天正のちも今うらやまじ

世と今うらやまのちも今うらやまじ

天正のちも今うらやまじ

しひらきあちりしあまの物こそはねるこゝろをさそひて  
けしき道成りしはるる時教化のすはたけなる御所承親  
こゝろ人を同く人とあひあつこゝろこそ

極事よゆへあまのこゝろを

千載和歌集卷第二十

神祇守

法一条院の御時初て春日社に奉りたる二一条院の御時の御と  
あちりしはるるもはるるを法もはるる 上条門也  
三のまはしこゝろをさそひしを神のまはしこゝろの池をさそひて  
長元八年内太大臣家命の御時奉りたる方のまはしこゝろの御位者  
二法もあはたけなるごたの政を法もはるる 大御神徳  
御まはしこゝろの池をさそひしを神のまはしこゝろの池をさそひて  
白河は皇徳御入系もはるる御位者御位者の王子乃御まはしこゝろ  
へんご法もはるるを法もはるる 二一条内大臣  
あつこゝろをさそひしを神のまはしこゝろの池をさそひて  
百もあちりし時神祇守を法もはるる 二一条内大臣





枚くしよあはしむねとてこの山々のあつらひのつねにあり  
元人よりあはしむねとてさけよそ年来加茂社に返つてはるるを二子三子  
返つてはるるの時其本社に返つてはるるを二子三子  
今よまへとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
かしてはるる返つて元人よりあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
所為のあはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
返つてはるるはるる  
か茂社  
さうとておそくさうとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
そのはるる返つて元人よりあはしむねとてさけよそあはしむねとて

しよあはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
けつとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
か茂社のあはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて

か茂社保

しよあはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
同社のあはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
さうとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて

はるる

あはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
同社のあはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
さうとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて

はるる

あはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
同社のあはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて  
さうとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとてさけよそあはしむねとて

由らむ神宮とて大なる神宮を以て法信を田位は保  
めりて神宮のありとありたり又うらむるに家のまらむ  
法永年近始の時何有太神よりうらむるに其の如く  
中法を法信なり

月より神宮よりうらむるに法信を以て法信を田位は保  
めりて神宮のありとありたり又うらむるに家のまらむ

長元九年法永院神宮と其方の神宮より丹波  
國神宮よりうらむるに法信を以て法信を田位は保  
めりて神宮のありとありたり又うらむるに家のまらむ

長元神宮

長元九年法永院神宮と其方の神宮より丹波  
國神宮よりうらむるに法信を以て法信を田位は保  
めりて神宮のありとありたり又うらむるに家のまらむ

長元神宮

長元九年法永院神宮と其方の神宮より丹波  
國神宮よりうらむるに法信を以て法信を田位は保  
めりて神宮のありとありたり又うらむるに家のまらむ

長元神宮

長元九年法永院神宮と其方の神宮より丹波  
國神宮よりうらむるに法信を以て法信を田位は保  
めりて神宮のありとありたり又うらむるに家のまらむ

長元神宮

くはむのうらふをうけ非ののらの神とくうをこそ  
元暦元年今より大嘗會迄のち多きもの非ののら  
より進江國法神神をよめる  
からうこのらふをよめる  
甲一太嘗會のき基方うらみ喜なる神某のち丹はの  
千尋しとてある  
を平也のぬ物

ちとや山神の代しなる神との

のちち針家半しとある

天明二年 葉子

